



**RC06R/RC06S**  
EXECUTORの新たなシリーズRCが登場。大胆かつ挑発的なコンケイブモデル。力強い6本スポークに彫り込まれたV型スラントが切れのあるシャープさを演出。大きな開口部のスポーク間にはブリッジ状のリップで補強シークセントとなっている。

**CV05/CV05S**  
ポリウレタンコンケイブと繊細なフィンを融合させたデザインカテゴリーにとらわれない新デザイン。これまでになかったプレミアム感をプラスしたモデル。

**EX06R**  
これまでに無かったデザインをカタチに。エッジを効かせた多角面で構成された6交点メッシュは、個性とスポーティの結晶。ありふれたカスタムを置き去りにする。2021年にリムの設計が見直されEX06Rに名称変更された。

**CV04/CV04S**  
強烈なコンケイブはそのままに、従来のモデルにあったファスナー部からの鋭い立ち上がり最小限に抑えスポーティさを意識した軽量フィン。オーバーフェンダー車などにも対応出来る強烈なインセットが設定されている。

**EX05**  
タイトに伸びるツインスポークが脚長で、ファスナー部に配置したピアスポルトが気高く花のあるモデル。ハイエンドな風格を感じさせる。

**EX04**  
スレンダーな脚線アーバンなフォルム。軽快な11本スポークのサイドのリップや、センターパートの落とし込みに至るまでシャープさを統一されたデザイン。

**CV03/CV03S**  
CV01, CV02に続くスポーティな8交点メッシュ。オーセンティックなシルエットながら、CVシリーズの象徴である強烈なコンケイブフェイスを受け継いだモデル。

**EX03**  
センターから放射される繊細で鋭利なフィンが脳裏に突き刺さるEX03。スポークの細さとセンターまで追い込んだ開口部によってキワドさを強調したデザイン。

**EX02**  
同じくスタンダードフェイスの7交点メッシュのEX02は、緩やかなラインの中に鋭角なエッジを持った緩急のある意匠。

**EX01**  
コンケイブの強烈なインパクトのCVとは対照に、スタンダードなフェイスながらもシャープで効いたスポークラインをもつEXシリーズはエグゼキューターのデビューで同時発売(EX01/EX02/EX03)したシリーズ。EX01はブレーンな5本スポークとピアスレスでシンプルさを追求した硬派なスポーティなモデル。

**CV02/CV02S**  
フェイスを逆アールにコンケイブさせたCV02。ハイパーメッシュとスポークを掛け合わせたような複雑さと個性的なデザインが特徴。

**CV01/CV01S**  
ExecutorのファーストモデルでCV02との同時発売。TANABE USAと共同で立ち上げたブランドで、USA本場のカスタム・スタイルをサムライ(日本) MADEでコンセプトに、強烈なコンケイブのスーパーコンケイブでエッジの効いたシャープなデザイン。今や当たり前のコンケイブだが、当時はキャスト(鋳造)では、SSRが国内初?であった。衝撃的デビューを果たした。

Brand New  
ニューカマーは  
Vスラントの立体スポーク

エッジが効いた  
6交点メッシュ

ディッシュと  
フィンの融合!

限界まで  
シェイプされた  
メッシュデザイン  
圧倒的な脚線美!

キャストコンケイブを  
生み出した  
初代エグゼキューター



**RC06R**  
SIZE: 19x8.0J-10.5J  
H-PCD: 5H-100 / 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: DIAMOND SILVER  
PRICE: ¥94,600-100,100

**RC06S**  
SIZE: 20x8.5J-11.0J  
H-PCD: 5H-100 / 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: DIAMOND SILVER  
PRICE: ¥105,600-111,100

**EX06R**  
SIZE: 19x7.5-10.0J  
H-PCD: 5H-100 / 5H-112 / 5H-114.3  
COLOR: GALAXY CLEAR BLACK  
PRICE: ¥81,400-86,900

**CV05**  
SIZE: 19x8.0J-13.0J / 20x7.5J-13.0J / 21x8.0J-11.5J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: CRYSTAL SILVER / GALAXY CLEAR BLACK  
PRICE: ¥111,100-155,100

**CV05S**  
SIZE: 20x7.5J-12.5J / 21x7.5J-11.5J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: CRYSTAL SILVER / GALAXY CLEAR BLACK  
PRICE: ¥123,200-155,100

**CV04**  
SIZE: 19x7.5J-13.0J / 20x7.5J-13.0J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: TITAN SILVER / BLACK  
PRICE: ¥108,900-147,400

**CV04S**  
SIZE: 20x7.0J-12.5J / 21x7.5J-11.5J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: TITAN SILVER / BLACK  
PRICE: ¥121,000-150,700

**CV03**  
SIZE: 19x7.5J-13.0J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: FLAT BLACK / FLAT TITAN  
PRICE: ¥111,100-133,100

**CV03S**  
SIZE: 20x7.5J-12.5J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: FLAT BLACK / FLAT TITAN  
PRICE: ¥123,200-145,200

**CV01**  
SIZE: 19x8.0J-13.0J / 20x8.0J-13.0J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: FLAT BLACK / FLAT TITAN  
PRICE: ¥111,100-147,400

**CV01S**  
SIZE: 20x7.5J-12.5J / 21x7.5J-11.5J  
H-PCD: 5H-112 / 5H-114.3 / 5H-120  
COLOR: FLAT BLACK / FLAT TITAN  
PRICE: ¥133,100-150,700

2ピースコンケイブをコンセプトにした最新モデル。6本スポークの中央に入れたV字スラントや、スポークの根元にリップを設けるなど高いデザイン性は必見。ファスナー部の立ち上げ(高低差60mm)からの大胆なコンケイブ形状も手に入れた、挑戦的な1本だ。

2P×スタンダードフェイス(非コンケイブ)をコンセプトにしたEXシリーズのなかでも、見た目のインパクトを重視したモデルがEX06Rだ。彫刻刀で削ったようなエッジの効いたツインスポークと、六角形のセンターパートの組み合わせにより、個性的な足元を作り出す。

フィンとディッシュの融合をコンセプトに仕上げたモデル。量感のあるセンターパートから、ツイストして広がるフィンスポークが特徴だ。ラウンドしたセンター部は、しっかりキャリアを見せながらエレガントさも追求した、絶妙なサイズに仕上げている。

無駄のない極細フィンスポーク形状が美しい。オーバーフェンダー装着車とのマッチングを考え、軽量化を目的にファスナー部からの立ち上げを抑え(高低差40mm)ながらも、既存のCVシリーズ同様のコンケイブ形状を実現している。

オーソドックスなメッシュスポークが印象的。細身8交点スポークによる広い開口部と、CVシリーズならではのコンケイブを融合したシンプルなメッシュデザインだ。撮影したフラットチタンは輝度感が特徴で、明暗のコントラストがさらなる立体感を生み出す。

2013年に誕生したエグゼキューター第1弾モデル。削り出し鋳造ではなく、鋳造でコンケイブしたディスクを作ったのはSSRが初! ファスナー部で一気に立ち上がり大胆にコンケイブして落ちる細身2x5スポークが美しい。ちなみにショルダー部の高低差は約75mm。

最新モデルのRC06R/Sを第1弾とするRCシリーズは、2ピースコンケイブ×リバーブ&ステップリムがコンセプト。スタンダードディスク×リバーブだったEXシリーズに対し、さらにデザイン性を高めたディスクが特徴だ。RC06R/Sはスポークの中央にV型スラントを入れ込み、さらなるシャープ感を演出。EXシリーズに継ぐ2ピースシリーズとして、CVシリーズとともにエグゼキューターの中核となっていく。

現時点で販売されているエグゼキューターは、6モデル(上記参照)。ジャパンメイドの鋳造コンケイブシリーズをリードし、常に一歩先を提示するSSRエグゼキューターに、世界のリムマニアからの視線は熱い。

見えるが、ファスナー部の立ち上がりや厚みのあるスポークサイドが躍動感を高めるフォアマットが特徴。洗って、ディテールつてこんななんだと、感じてもらえるデザインをどこかに入れていきたい」とは、デザインを担当した土居氏。例えば、CV01は一見シンプルながら10本フィンに見えるが、よく見ると2本1セットに仕上げるなど、細部に遊びココロが見えるあたりにも所有欲をくすぐってくれる。

EXは、2ピース×スタンダードなフェイスを合わせているのが特徴だ。つまり、非コンケイブデザインで、インセットの自由度が高い2ピースということ。EX06ではスタンダードながらエッジの効いた多角面で構成した6交点メッシュを採用し、足元へと視線を惹きつける。

2013年に誕生したエグゼキューターは、現在「CV」と「EX」、「RC」という3つのシリーズで展開している。CVとはコンケイブの略で、コンケイブディスクを取り込んだ3ピースモデルのこと。ピアスポルトをおごったファスナー部から一気にディスクを立ち上げて、センターパートに向かってコンケイブする手法が中心だ。正面から見れば柔らかなラインに

しかし、彼らが求めるのはあくまでも性能。それをクリアしたうえで、格好良くスポーティなエグゼキューターは瞬く間に人気となる。US車はもちろん、BMWやメルセデスベンツ、GTRといった日本車にもインストールし、スタンスマニアからも高い支持を集めていった。

「USA本場のカスタム・スタイルを、サムライ(日本) MADEで」をコンセプトに誕生したエグゼキューターに、なにより驚いたのがアメリカの人たちだった。

SSRといえば、プロフェッサーを筆頭に、古くはType CやMK IIなど、走りのイメージが強い日本のホイールメーカー。デザイン偏重なホイールが多かったアメリカにおいて、モータースポーツシーンでの裏付けやバックボーンがしっかりしているSSRへの信頼性はとても高かった。そんなSSRがアメ鍛然とした、大口径×コンケイブディスクのエグゼキューターをリリースしたことは大きな話題となった。少なからずそれまでのSSRファンにとっては大きな衝撃だったに違いない。

「USA本場のカスタム・スタイルを、サムライ(日本) MADEで」をコンセプトに誕生したエグゼキューターに、なにより驚いたのがアメリカの人たちだった。

SSRといえば、プロフェッサーを筆頭に、古くはType CやMK IIなど、走りのイメージが強い日本のホイールメーカー。デザイン偏重なホイールが多かったアメリカにおいて、モータースポーツシーンでの裏付けやバックボーンがしっかりしているSSRへの信頼性はとても高かった。そんなSSRがアメ鍛然とした、大口径×コンケイブディスクのエグゼキューターをリリースしたことは大きな話題となった。少なからずそれまでのSSRファンにとっては大きな衝撃だったに違いない。